

アメリカ アラスカ州 パーマー高校 清水さん

留学期間：R1.8～R2.6（1年間）

私はアメリカのアラスカ州に昨年の8月から交換留学生として滞在しています。海外にこんなに長く滞在するのは初めてで、毎日驚かされます。もう少しで5ヵ月が経とうとしていますが、まだまだ自分の未熟さを思い知らされます。

ここに来て本当にたくさんの方に驚かされます。まず、人々のフレンドリーさです。この人達は基本、距離が近いです。廊下ですれ違った時はハイタッチをし、当たり前のように「週末はどうだった？」や「調子どう？」等の挨拶をしてくれます。日本で友達の週末がどうだったか、友達が元気かどうかなんて聞いたことがありませんでした。自分が日本からの留学生ということを伝えると、みんな、「アラスカはどう？」と聞いてくれたり、アラスカのことについて教えてくれたりします。また、先生と生徒の距離が近いのにも驚きました。先生は生徒のことを親身になって考えていて、生徒も先生を信頼しきっていて、とてもいい関係を築けていると思いました。

次に、みんな友達や家族をとっても大切にしていることも分かりました。ここに来て1ヶ月目、ここにいる人たちは「ありがとう」をたくさんい



日本語クラスの友達と

う人たちだなあと思ったのが印象的です。また、5ヵ月いて、言われ続けているのが、「なんでそんなに謝るのか。」ということです。私は、「ちょっとごめんね」と言われると、「ああ、ごめん。」と返すのがくせです。だからみんなに、「あきは悪くないのになんで謝るんだ。」と言われます。だから私は、日本人はよく謝り、アメリカ人はよく感謝するという印象を受けました。

今までは簡単な授業を受けて、英語に慣れると共に、友達を作ることを中心に頑張ってきました。でも、2学期からは自分の受けてみたかった少し難しい授業にも挑戦してアラスカのことについて勉強していきたいです。また、友達も増えてきて、遊ぶ機会も増えま

した。色々な場

所に行って、アラスカの自然を満喫したり、ネイティブアラスカンについて少し学ぶことが出来たりしました。そこで今度は日本文化を広める番だと思いました。日本食を積極的に作っていきたいと思います。また、年末年始の日本の伝統的な行事も紹介していきたいと思います。

アラスカという遠く離れた地にいると少し弱気になったりする事もありましたが、その度に「頑張れ。」と応援してくれた日本の友達や同じような環境にいる友達、アメリカでできた友達には、感謝してもしきれません。



ホストシスター達との家族写真

最後になります
が、私にこのような
素晴らしい機会を

くださった、学校の先生方、家族、そしてふるさと納税寄付者の皆様、本当にありがとうございます。お陰様で、たくさんの方を学び、吸収して、成長することが出来ました。あと半分しか残ってないと思うと焦りますが、自分にできることを見つけて積極的に行動していきたいです。



アラスカの大自然の中で